

令和7年6月2日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

智頭町議会議員 谷口 雅人

安道 泰治

議員派遣結果報告書

令和7年4月8日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1. 派遣名

- (1) 令和7年度町村議会議長・副議長研修会
- (2) 鳥取県町村議会議長会議長・副議長研修会

2. 目的

議会の重責を担う議長及び副議長を対象に開催される研修会に参加することにより、住民の代表機関として町村議会が果たすべき役割の重要性や課題を再認識し、議会・議員活動の一層の活性化に資する。

3. 派遣場所

- (1) 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 「東京国際フォーラム」
- (2) 東京都千代田区永田町1-11-35 「全国町村会館」

4. 期 日 令和7年5月27日（火）、28日（水）

5. 内容等

- (1) 令和7年度町村議会議長・副議長研修会
 - ・開会あいさつ
全国町村議会議長会会長 渡部 孝樹 氏（北海道厚真町議会議長）
 - ・研修テーマ、講師
 - ①「広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な防災DX」
内閣府政策統括官（防災担当）高橋 謙司 氏

②「平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題－自治体実務の立場から－」

明治大学名誉教授 青山 侑 氏

③「災害と議会・議員の役割」

同志社大学名誉教授 新川 達郎 氏

(2) 鳥取県町村議会議長会議長・副議長研修会

・演題、講師

「マイナンバーカードの最近の諸動向について」

講師 総務省自治行政住民制度課

マイナンバー制度支援室長 小牧 兼太郎 氏

6. 所 感 等

(1) 令和7年度町村議会議長・副議長研修会

まず最初に、全国町村議会議長会事務総長より、「フリーレンたちと学ぶ地方議会」(小学生・中学生向け)、「あなたと共に創る未来－フリーレンと行く、地方議会を知る旅路－」(高校生・大学生向け)という、『葬送のフリーレン』のキャラクターを掲載した「議会の主権者教育リーフレット」の説明を受けた。リーフレットをコピーして配るのは違法なので、有料ではあるが事務局へ連絡して送ってもらうと使用可能とのことだったので、議会に興味をもってもらうためにはぜひ本町でも、小学生・中学生向けに取り扱っていただきたいと思います。

これまでの大規模災害と今後発生が想定される大規模地震等について学んだ。東日本大震災・令和6年能登半島地震・平成30年7月豪雨・平成28年熊本地震など、また今後想定される日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震・首都直下型地震・富士山噴火・南海トラフ巨大地震など、大規模災害に備え、防災業務の企画立案機能を飛躍的に向上させ、平地から万全の備えを行うことが必要不可欠であることと、平時の災害応急物資の備蓄状況の可視化、災害時の物資支援の広域連携を実現する「新物資システム(B-PLO)」の利活用促進・「クラウド型被災者支援システム」等の被災者支援DXの導入利活用の促進などが広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」であり、災害対応基本共有情報や机上演習(TTX)の実施を行うことによりプッシュ型支援と新物資システム(B-PLO)により被災地からの要請がなくても、物資の供給を確保し、輸送する支援を開始するとしている。プッシュ型支援の実績は、食料、飲料、下着、段ボールベット、体温計、ブルーシートなど数多くのニーズに応じた支援を実施している。平時の在庫管理・搬出計画の立案・数量管理など教訓を組み込んだシステム設計など、本町においても必要な実施項目であると感じた。また災害と議会・議員の役割については、「智頭町議会基本条例」の中にも具体的に明記することも考えていくべきかと感じた。

（２）鳥取県町村議会議長会議長・副議長研修会

講師の小牧氏は、平成９年から６年間、鳥取県庁に勤務され、総務部財政課長など歴任されていて、智頭町や五月田に行ったことがあるという話を最初にされた。後で名刺交換の際には、現熊本県知事の木村氏の話や、午後から尋ねる阿部氏の話などを語ることで和やかであった。

マイナンバーカードは、これからの時代本人確認ツールであり、マイナ保険証を基本とする仕組みへの移行やマイナンバーカードと運転免許証の一体化の話、免許証２枚持ちのこと、郵便局やコンビニなどにおける証明書の自動交付サービスマイナンバーカード機能のスマートフォン搭載など、令和７年春にはできる限り早いタイミングで開始できるよう取り組みを進めている。引っ越し手続オンラインサービスで、来庁せずにオンラインで転出届・転入予約などができるようになっている。マイナンバーカードによるおくやみのワンストップ制度などもでき、日々進化していると認識した。